

第163回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成21年10月)

柏崎信用金庫

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,661	-2.50	-1.25	4,052	-0.14	-0.24
東部地区	14,459	0.85	0.08	5,662	0.83	0.15
西部地区	10,877	0.25	0.79	4,006	0.04	-0.14
駅南地区	6,350	-0.88	-0.31	2,674	0.07	0.18
半田地区	3,608	0.36	-0.19	1,348	1.27	0.29
横山地区	5,709	0.68	0.14	1,872	1.51	0.10
茨目・田尻地区	6,982	0.48	0.38	2,331	1.04	0.34
荒浜地区	5,122	-1.38	0.01	1,997	-0.74	0.25
その他地区	21,004	-1.37	-0.11	7,178	0.01	-0.05
西山町地区	6,305	-1.63	-0.01	2,122	-1.07	0.00
高柳町地区	1,976	-1.20	-0.40	854	1.30	-0.11
柏崎市計	92,053	-0.60	-0.05	34,096	0.25	0.03
刈羽村	4,914	-0.74	-0.18	1,542	0.19	0.06
小国地区（長岡市）	6,437	-1.87	-0.12	2,150	-0.60	-0.04
出雲崎町	5,220	-1.19	0.03	1,814	-0.60	0.05
合計	108,624	-0.71	-0.05	39,602	0.16	0.03

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続きすべての市町村・地区で減少しており、柏崎市で561人、0.60％、刈羽村で37人、0.74％、小国地区（長岡市）で123人、1.87％、出雲崎町で63人、1.19％と減少し、全体では784人、0.71％の減少となった。

また、前月比においても、出雲崎町で2人、0.03％と増加したものの、柏崎市で50人、0.05％、刈羽村で9人、0.18％、小国地区で8人、0.12％と減少したことから、全体では65人、0.05％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比では小国地区で13世帯、0.60％、出雲崎町で11世帯、0.60％と減少したが、柏崎市で88世帯、0.25％、刈羽村で3世帯、0.19％と増加した結果、全体では67世帯、0.16％の増加となった。

また、前月比においても、小国地区で1世帯、0.04％と減少したが、柏崎市で12世帯、0.03％、刈羽村で1世帯、0.06％、出雲崎町で1世帯、0.05％の増加したことから、全体では13世帯、0.03％の増加となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	646		-35.40		-4.57	
月間有効求職者	1,762		63.90		-3.39	
月間有効求人倍率	0.37	0.38	-0.56*	-0.33*	0.00*	0.00*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が646人と前年同月比で354人、35.40％の大幅な減少、前月比でも31人、4.57％と減少している。

一方、月間有効求職者数は1,762人と前年同月比で687人、63.90％の大幅な増加となったものの、前月比では62人、3.39％と減少している。

以上の結果、月間有効求人倍率は0.37倍と前年同月比では0.56ポイントと大幅に下回り、前月比では同倍率となっている。なお、県平均0.38倍と比べて0.01ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）については、月間新規求人数が228人と前年同月比で85人、27.16％の大幅な減少、一方、月間新規求職者数が389人と前年同月比で50人、14.75％と増加した結果、月間新規求人倍率は0.59倍となり、前年同月の0.92倍に比べて0.33ポイント下回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成21年10月の年度累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅（併用）	37	-40	6	290	-361
共 同 住 宅	2	2	0	8	4
事 務 所	1	0	1	6	-1
作 業 所・工 場	0	-2	0	2	-13
営 業 建 物	0	-2	-1	17	-9
公 共 建 物	0	0	0	2	1
そ の 他	4	-9	-8	71	-16
合 計	44	-51	-2	396	-395

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が44件と前年同月比で51件の大幅な減少、前月比でも2件減少している。工種別における主な増減については、一般住宅（併用）が前年同月比で40件の減少となったが、前月比では6件の増加となっている。

なお、工種全体の申請内容は、新築が30件、増築が11件、改築が3件となった。また、一般住宅（併用）37件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況については、市内施工業者が30件（うち新築20件、増築8件、改築2件）、市外施工業者が7件（うち新築5件、増築1件、改築1件）となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,135	-1.63	-0.15	17,134	1.17	0.81
電 力	10,984	-3.20	-0.49	37,820	-17.05	-5.86

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で1,085口、1.63%の減少、前月比でも103口、0.15%と減少している。一方、電力も前年同月比で364口、3.20%の減少、前月比でも55口、0.49%の減少となっている。

使用量は、電灯が前年同月比で199kwh、1.17%の増加、前月比でも139kwh、0.81%と増加している。一方、電力においては、前年同月比で7,776kwh、17.05%の大幅な減少、前月比でも2,357kwh、5.86%の減少となっている。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	885,211	13.50	14.79	704,563	-1.20	-6.82
営 業 用	150,514	-2.38	-22.26	122,849	-3.89	-8.97
工 場 用	566,288	-14.62	-14.11	156,457	1.19	1.47
官 公 学 校 用	211,910	4.54	-29.72	79,224	-5.09	-9.43
そ の 他				82	-65.97	-87.81
合 計	1,813,923	0.77	-5.80	1,063,175	-1.49	-6.20

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計では前年同月比で13,894m³、0.77%の増加となったものの、前月比では111,701m³、5.80%と減少している。用途別内訳を見ると、前年同月比では家庭用、官公学校用で増加、前月比では家庭用を除くすべての用途で大幅に減少している。

一方、水道給水量においては、前年同月比で16,164m³、1.49%の減少、前月比でも70,332m³、6.20%の減少となった。用途別内訳を見ると、前年同月比では工場用を除くすべての用途で減少、前月比でも工場用を除くすべての用途で減少している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	94,882	-8.85	3.42	100,103	-7.58	4.27
西 山	50,002	-29.07	-1.33	45,165	-32.01	-1.90
米 山	25,403	-18.61	3.71	23,360	-17.59	2.34
合 計	170,287	-17.26	2.02	168,628	-16.97	2.28

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では、前年同月比で35,533台、17.26％の大幅な減少となったが、前月比では3,379台、2.02％と増加している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で34,478台、16.97％の大幅な減少、前月比では3,762台、2.28％の増加となっている。

インター別で見ると、前年同月比ではすべてのインターの入口・出口において大幅に減少、前月比では入口・出口ともに西山インターで減少、柏崎・米山インターで増加している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
未 残	357,712	2.74	1.26	150,225	0.34	0.58
平 残	354,327	2.40	-1.15	147,865	0.84	0.92

預金は、未残が前年同月比で9,569百万円、2.74％の増加、前月比でも4,477百万円、1.26％の増加となっている。また、平残は前年同月比で8,309百万円、2.40％の増加となったものの、前月比では4,156百万円、1.15％と減少している。

一方、貸出金においては、未残が前年同月比で512百万円、0.34％の増加、前月比でも880百万円、0.58％と増加している。また、平残では前年同月比で1,241百万円、0.84％の増加、前月比でも1,361百万円、0.92％の増加となっている。

8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	27,088	417.93	-11.80
交 換 金 額	14,917	146.46	-22.75
不 渡 り 手 形 枚 数	28	366.66	-30.00
不 渡 り 手 形 金 額	32	1,087.75	-12.28

(資料出所：長岡手形交換所)

柏崎手形交換所は、平成21年3月31日に廃止となり、新たに平成21年4月1日から長岡手形交換所に統合されたため、平成21年4月分から長岡手形交換所による計数となっています。なお、前年同月比については、平成22年3月分までは柏崎手形交換所との比較になります。

長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で21,858枚、417.93％の増加、前月比では3,625枚、11.80％の減少となった。また、交換金額は、前年同月比で8,865百万円、146.46％の増加、前月比では4,395百万円、22.75％の減少となっている。なお、不渡手形は28枚、32百万円発生している。

法的整理（負債1,000万円以上）による県内企業倒産11件（前年同月7件、前月2件）、負債総額19億円（同14億円、同1億円）となっている。地区別では、下越地区で6件（新潟市4件、五泉市1件、燕市1件）、中越地区4件（長岡市2件、三条市1件、十日町市1件）、上越地区1件（上越市1件）発生している。業種別は、建設業6件、販売業4件、その他1件となり、倒産原因については、販売不振9件、設備投資の失敗1件、経営計画の失敗1件となっている。

当月の企業倒産は11件、負債総額で19億円と平成21年では最多となっており、前年同月比で4件の増加、負債総額でも5億円の増加となっている。なお、負債総額10億円以上の大型倒産は発生していない。

県内経済は、依然として底入れの動きがみられるものの、底ばいの厳しい状況が続いており、景気の先行きも不透明感が強く、企業の景況感は下げ止まり傾向にあるものの、収益環境は厳しい状況が続いている。